

和歌山県言語聴覚士会

News Letter 第39号

VOL. 39 2020年12月

挨拶	1	新入・退会・異動等会員情報	4
JRAT 活動報告	2	議事録要約	5
研修会に参加して	2	広告	9
ST の仕事って楽しい!?	3	編集後記	10
本紹介	4		

挨拶

副会長 訪問看護ステーション中紀 天野 哲弥

今年にはコロナウイルスに翻弄された一年でした。勉強会などの会合は開催できず、PCでのリモート参加、不要不急の外出は自粛、衛生管理にソーシャルディスタンスと人々との接触が制限されました。孤立や孤独に陥る人たちが社会問題化される中、思えば言語障害もその弊害は意思疎通困難により孤独となり、社会生活に支障が出ることです。全国失語症友の会連合会の調べでは、失語症発症後に携帯電話、メールやインターネットの使用ができなくなったという人は60%以上。重度な方はほとんど使用できないと推測され、地域における生活でも自宅にこもりがちになり、社会に無関心になったり、焦燥感や挫折感から落ち込んだりと心理的な障害側面のほか「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」とする基本的人権の生存権にも関わる問題でもあります。

協会が進める失語症者向け意思疎通支援事業は、これらの問題に対して厚生労働省と協議の上、都道府県と県士会が意思疎通支援者養成カリキュラムを通じて家族やST以外の一般の方に支援者になっていただき、買い物や各種手続きなどの外出支援を行うとともに、会話サロンや旅行や訪問での活動も想定されています。昨年度からすでに養成事業は始まっており、来年度中には支援者派遣も始まる予定です。STも受講して支援者登録できますのでぜひご参加ください。

会員の皆様もこの状況の中、日々の臨床業務に孤独やストレスを感じていることと思います。しかし、患者さまにとってSTだけが理解者なのかもしれません。やはり会って話すことが人と人とのふれ合いや心の救いになっているのではないのでしょうか。

JRAT 活動報告

紀南病院 古久保 良

JRAT とは、大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会のことで、2011 年の東日本大震災の経験を活かし、新たな大規模災害に備えるため生まれた組織です。2019 年 11 月 23 日に和歌山 JRAT が正式に発足しました。現在は災害時活動の保障を目的に、和歌山県と協定を結ぶ準備を進めています。また和歌山県下の災害拠点病院や支援病院に勤めている療法士に参加を求め連携をしている段階です。有事の際の支援も大切ですが、平時の備えや連携がより大切と考えています。地域の避難所がどこにどれだけ立つ予定なのか、支援物資はどこに届くのかなどの情報も収集しています。また、災害時の避難所運営をシミュレーションする研修や災害リハビリテーションの考え方などの講義も予定しています。

研修会に参加して

令和 2 年度失語症者向け意思疎通支援者指導者研修が、2020 年 10 月 24.25 日の 2 日間で Web 研修の形にて開催されました。今回参加された 2 名の先生方より感想を頂きました。

紀和病院 中野 拓

今回、失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修に参加させて頂きました。今回は WEB 開催であったため、他の先生方の質問を聞くことはできませんでした。失語症の基礎的知識、関わり方を一般の方へ伝えることの難しさを感じました。その中で、どのようにすれば受講者が理解し、支援する心構えを養えるかを学ぶ研修でした。今回の研修を通して、これからも事業で自身の経験や失語症者への関わり方を伝えていければと考えています。

北出病院 濱田 広人

今回、このような貴重な研修会に参加させて頂きありがとうございました。私が実際に臨床を経験していく上で失語症者とその家族様、医療従事者とのコミュニケーションを円滑にするにはどうすれば良いか、失語症者の言語能力をどうすれば知ってもらえるか迷う事が日々ありました。病院のリハビリや家族様への指導のみでは、なかなかスムーズな意思疎通のやりとりの獲得などを進める事に難しさを感じていました。今回研修で学んだことを活かし、私が働いてる紀中地域の失語症者・家族様のコミュニケーションが少しでも円滑になるよう、また他職種の方達に失語症について知って頂けるようにしていきたいと考えております。

STの仕事って楽しい!?

このコーナーでは、会員が日常の中で『STの仕事って楽しい』と思う事についてエッセイを掲載しています。

国立病院機構和歌山病院 兜金 雅子

この度なぜか突然お鉢が回ってきましたので、STをしていて楽しいというより幸せだなと思うことを書かせていただきます。

特に目新しいお話ではありませんが、嚥下障害の患者さんにほんの少しでも美味しい物を味わっていただけたときそしてコミュニケーションが難しい患者さんと温かい団らんの時間を共有できたときに、STをしていて本当に良かったなと思います。

例えば、ある終末期の患者さんは状態悪化傾向にあり、お楽しみ程度に介助で経口摂取をしていました。日替わりで様々な味のゼリーが提供されていました。配膳時、見た目だけで味を特定してお伝えすることが難しかったため匂いをクンクン嗅いでいる看護師さんを見た患者さんが、「おいよ～大丈夫か？腐ってへんか」と即座にツッコミを入れたのが可笑しくて、ベッドサイドにいた人全員で大笑いしたことがありました。その数日後に患者さんはお亡くなりになりましたが、皆で他愛ない話をして笑い合った数々の思い出が今も胸に残っています。

仕事がうまくいかなくて落ち込む日もありますが、どんな状況にあっても患者さんができるだけ笑顔で過ごせるようにこれからもSTとして努めていければと思います。



本 紹 介

本紹介をリレー方式で行っています。自分が読んでみて「おもしろかった!」「参考になった」など感じた本をご紹介いただいています♪

つくし医療センター 阪井 友哉

題名 : 「聲の形」
著者 : 大今良時
出版社 : 講談社

今回、本紹介の依頼を受けてから新型コロナウイルスの影響でステイホームの時間が長くあり、改めて読み返した本を紹介させてもらおうと思いました。

この本は「いじめ」や「聴覚障害」をモチーフとして「コミュニケーションそのもの」を題材にしています。読み始めは、いじめや聴覚障害者へのコミュニケーションの難しさに引き込まれますが読み進めていくにつれて「人とのコミュニケーション」の難しさがより鮮明に分かるようになります。STとして働いて常に人とのコミュニケーションの難しさを実感していますが、それぞれの立場や考え方なども含めて理解して接することが大切だなと改めて思う作品でした。

映画化もされているので、ぜひ一度ご覧になってはいかがでしょうか。

次回は貴志川リハビリテーション病院の谷坂莉央先生にお願いしております。

新入・異動・退会等会員情報

(令和2年10月現在)

<新入>

無し

<異動>

221 井戸上 翼 (南紀医療福祉センター → 自宅)

<退会>

無し

現在の会員数

正会員 : 167名 学生会員 : 0名 賛助会員 : 2名 1団体

※氏名、職場、自宅など連絡先に変更がある場合は、必ず事務局までお知らせください。郵便物が届かなくなる恐れがあります。

事務局 : 琴の浦リハビリテーションセンター 言語療法室内
TEL : 073-481-4522 FAX : 073-444-9792
mail:wakayama_st_jimu@yahoo.co.jp

議 事 録 要 約

令和2年度第3回理事会

開催日時：8月26日（水）19:00～20:45 Zoom リモート会議

参加者：山崎 天野 古久保 岩本 静 青木 中武 土井 尾藤 中瀬

○山崎会長

- 1) 7月28日：法人登記完了（宮井登記事務所）
- 2) 8月22日：失語症者向け意思疎通支援者養成研修会開会式出席
- 3) 9月1日言語聴覚の日新聞広告掲載（読売新聞）

○天野副会長

- 1) 8月13日：第12回和歌山県訪問リハ研修会第一回打合せ会議（WEB）
- 2) 当会のCISCOかZoomの運用及びアカウント取得について
各局の勉強会で使えるよう財務局の口座で支払えるものが好ましい。

○古久保副会長

災害リハ局への移行について準備を進めている。

○社会局 静理事

- 1) ふれあい人権フェスタ2020不参加をお伝え → フェスタ事務局より了承。
- 2) 第25回和歌山県病院協会学術大会 第1会場担当：静、中野会員、他那賀病院PT2名
第2会場 第3群 座長：尾藤理事
- 3) 第24回学術大会 最優秀賞2名選出
- 4) 会員異動の件 各地区委員に新入・異動会員のメールアドレスを教える

○学術局 青木理事

今後予定している学術大会や勉強会等は集合開催で行うかオンライン開催かなど、コロナの収束状況をみて検討していく。

○地域包括ケアシステム推進局 水田理事

- 1) 地域リハビリテーション活動支援事業（市町村管轄）について
 - ・和歌山市
 - 自立支援型（個別）地域ケア会議：1件派遣終了、2件派遣予定
 - WAKAYAMA つれもて健康体操 立ち上げ支援：1件派遣終了、1件派遣予定
 - 交流会：令和3年1月末～2月に3開催予定
 - 市民サポーター養成講座：令和2年11月10日STパート「コミュニケーションと地域づくり」へ派遣予定

2) 地域リハビリテーションについて

- ・和歌山市地域包括支援センター西脇より講演依頼。
- ・和歌山県聴覚障害者協会より講演打ち合わせ。今回を契機に聴覚障害への支援について拡充していくことがあれば、聴覚専門の ST へ繋いでいく。
- ・地域包括支援センターから失語症者のコミュニケーションについて相談があり、失語症サロン活動を段階的に進めていく。

3) その他

- ・和歌山県理学療法士協会学術局より 9 月末に新型コロナウイルスに関する研修会を Web で開催する。

○広報局 土井理事

機関紙は会長・副会長へ最終チェック依頼中。確認、修正連絡頂き次第最終段階チェックしてホームページ掲載予定。

○財務局 中武理事

今年度会費の督促を 10 月ごろ開始。

○地域支援局 尾藤理事

1) 令和 2 年度失語症者向け意思疎通支援者養成研修

8 月 22 日(土)和歌山県勤労福祉会館プラザホープ、和歌山市ふれ愛センター

参加者：受講者 7 名 (実習 8 名)、和歌山県障害福祉課大内様、山崎会長、会員 5 名

協力団体：和歌山失語症友の会「紀の国会」 会員 6 名、スタッフ 3 名

8 月 23 日(日)和歌山市ふれ愛センター

参加者：受講者 7 名、会員 6 名、当事者と家族 4 名

2) 令和 2 年度失語症者向け意思疎通支援者指導者研修

10 月 24 日(土)、25 日(日)WEB 研修 参加者：濱田会員、中野会員

○教育局 中瀬理事

1) 日本言語聴覚士協会 HP より 2020 年度専門講座開催のお知らせ (8 月 20 日更新)

過去 3 年間に開催した専門講座のうち 5 講座をオンラインセミナー形式で開催

今年度限定で受講料は無料、生涯学習ポイント取得可

2) 基礎講座の開催について

開催方法：集合型または Web 開催→ソーシャルディスタンスをとれる形で集合型

講師選出：「臨床マネジメントと職業倫理」に板倉相談役、「研究法序論」に静先生

3) 基礎講座の講師増員について

現在講師可能な先生方：板倉相談役、山崎会長、天野副会長、吉村貴子先生、静先生

講師を増やす必要があり、講師要件を満たしている会員を把握するため来年度総会案内時に生涯学習ポイント取得状況アンケートを実施する。

令和2年度第4回理事会

開催日時：10月14日(水) Cisco リモート会議 19:00～20:20

参加者：山崎 天野 古久保 岩本 静 中武 尾藤 中瀬

○山崎会長

令和2年10月24日：和歌山県病院協会70周年記念式典参加予定（アバローム紀の国）

○天野副会長

- 1) 日高御坊地区地域連携ネットワークフレンズつながり企画委員受諾者なく参加見送り
- 2) 訪問リハ実務者研修会企画進行遅延の旨報告する

○古久保副会長

- 1) 和歌山 JRAT 活動について、現在和歌山地域の災害拠点病院や災害支援病院のリハスタッフの加入を進めている。大体7割ほどは加入してくれている。
- 2) 災害研修について、令和3年1月から3月ごろの土日に Web 研修で検討中。

○事務局 岩本理事

会員異動更新

○社会局 静理事

- 1) 第25回和歌山県病院協会学術大会
日時：令和2年11月15日（日）9時30分～12時50分
場所：ホテルアバローム紀の国 ※各病院単位での申し込みをお願いする。

○広報局 土井理事

12月のニューステラ作成に向けて寄稿依頼など進めている。

○財務局 中武理事

来年度へ向けての自動払い込み追加申し込み分の入力を行った。

○地域支援局 尾藤理事

- 1) 令和2年度失語症者向け意思疎通支援者養成研修
8月29日(土) 和歌山国際厚生学院 参加者：受講者7名、講師1名、会員5名
9月19日(日) 和歌山市ふれ愛センター
参加者：受講者6名、会員3名、和歌山県障害福祉課大内様、広報課工藤様、人権施策推進課岡本様、テレビ和歌山制作部3名
協力団体：和歌山失語症友の会「紀の国会」 会員7名、家族1名、スタッフ2名
その他：テレビ和歌山から養成研修の取材申し込みを受託、撮影を行った。
放送日は11月11日17時30分～「6Waka イブニング」内のシリーズ人権にて

2) 次年度の失語症者向け意思疎通支援者養成研修及び派遣について担当課と協議

日時：9月17日(木)和歌山県庁 14:30～16:00

概要：和歌山県としては、派遣事業を来年1月～3月を試用期間（予算確保済）とし、次年度4月から本格的に開始したいとの意向。盲ろう者向け派遣事業を基本モデルとして他府県の失語症者向け派遣事業を参考に事業を組み立てていくことを考えている。また、選択科目を現任者研修として次年度での開催を要望される。次年度中の派遣開始と選択科目の一部を実施することで合意した。

○教育局 中瀬理事

1) 基礎講座「臨床マネジメントと職業倫理」講師 板倉相談役

「研究法序論」に静先生決定

2) 基礎講座講師候補 岩本先生 水田先生 田中先生 中瀬先生 古久保先生

3) 基礎講座 日時：3月6日開催予定。場所：未定



熱を加えずに
まぜるだけで
ムースゼリーが
すぐに作れます！

クイックゲル化食品

ミキサーゲル



ミキサーゲルで作るムースゼリーとは、「おいしさ」「やわらかさ」「まとまり」「適度な付着性」「経時的安定性」に優れた、安心・安全の食事形態です

泡だて器やスプーン等で混ぜる場合

ミキサーゲルを加え
1分程度かき混ぜます



しばらく
おきます
(3分以上)

再度かき混ぜムース
ゼリーに仕上げ
て出来上がり



添加量の目安 ●温かい食材の場合(40℃以上)0.5~1.0g
●冷たい食材の場合 1.5~2.0g

ミキサー使用の場合

食材にミキサーゲルを
加え攪拌
します
(30秒程度)



しばらく
おきます
(1分以上)

再度攪拌します
(30秒程度)



盛りつけて
出来上がり
(5分程度で安定
します)

添加量の目安 ●温かい食材の場合(40℃以上)0.5~1.0g
●冷たい食材の場合 1.0~2.0g

お湯を加えて
混ぜるだけ！
簡単に美味しい
粥ゼリーが
できます！



粥ゼリーの素

宮源のお粥

うるち米
国産米粉使用

- 簡易的嚥下評価のテストフードとしての利用
- でん粉分解酵素不使用で、お米本来の風味を味わえます
- お餅、お団子の代替としても最適です
- 2kgタイプは5年間の保存(賞味期限6年)が可能



① 計量して → ② 熱湯を加えて
かき混ぜます

「宮源のお粥」に対し
水(お湯)5~7倍



③ 出来上がり
*50度以下に冷め
るとゼリー化します



2Kg

賞味期限
6年



賞味期限
3年半

お手軽パック

「おうちで作る
かご食の本」



監修
黒岩 恭子
藤谷 順子
飯野登志子

A5オールカラー
32ページ

困ったときにひらく本
「嚥下食Q&A」



監修
藤谷 順子
増田 邦子

A5オールカラー
24ページ

お問い合わせは

073-455-1711

FAX 073-455-1211

宮源 検索

詳しくはネットで検索 HPIはこちら

株式会社 宮源

〒640-8403 和歌山県和歌山市北島 332 番地
http://www.miyagen.net/

MiyaGen

食べる喜びを大切に

〔編集後記〕

今回も機関紙発行に際して寄稿下さいました会員の皆様、お忙しい所ご協力頂きありがとうございました。ご意見・ご感想がございましたら、ぜひお聞かせください。

本年も早いもので師走となり、新型コロナウイルス流行の影響により生活様式が大きく変化した1年であったように感じます。巷では第3波とウイルス流行が拡大しており、和歌山県内でも有病者が増加傾向となっております。会員皆様の体調祈願と新型コロナウイルス終息を願い本年の締めくくりとさせていただきます。来年も県士会活動をどうかよろしく願い申し上げます。

(白浜はまゆう病院 広報局員一同)



発行：和歌山県言語聴覚士会
会長 山崎 良一

事務局：社会福祉法人
琴の浦リハビリテーションセンター
〒640-0014 和歌山市毛見 1451
TEL：073-444-3141

編集：広報局
(公財)白浜医療福祉財団 白浜はまゆう病院
〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 1447 番地
TEL：0739-43-6200
FAX：0739-43-7891